

名物立花みかん制作中

家庭科の学習 玉どめ・玉結びを使って

今、新宮町立立花小学校五年一組の教室では、この地域の名物である「立花みかん」が着々と「制作」されている。家庭科の学習で学んだ玉どめ・玉結びを使った「立花みかん」の制作。五年一組の立花山が季節外れの豊作を迎える日を心待ちにする声も聞こえている。



結友達と教え合いながら玉どめ・玉結びを練習し、立花みかんを作る。五年一組の子どもたち

五年生から始まった家庭科の学習。子どもたちは、家庭生活をよりよくするための学習を進めてきた。調理実習にも意欲的に取り組み、お弁当作りでは、少しずつでも自分にできることをやってみようという意欲的に取り組み、すてきな姿が見られた。

六月の家庭科学習では「はじめてみようソーイング」が始まっている。裁縫をすることでもくらしの中に役立つことや裁縫道具の使い方・注意点を学んでから、いよいよ実際に裁縫をやってみる活動へ。手縫いの基本中の基本である玉どめ・玉結びの重要性を学んだら、いよいよスタート。

これまでのは、玉どめ・玉結びをいちごの種やおにぎりのふりかけ等に見立てて作ったことはあったのだが、ミカンの皮の模様に見立てることは、立花小ならではのアイデア。子どもたちの個性あふれる「立花みかん」の豊作がとても楽しみである。